

★ 投影番組

夏番組 『はくちょうに乗って天の川探検』

【投影期間】2023年6月10日(土)～2023年8月27日(日)

夏の夜空を見上げると、東の空に天の川が見えます。この天の川をはさんで七夕物語のおりひめ星(こと座の1等星ベガ)とひこ星(わし座の1等星アルタイル)が輝いています。そしてもう一つ天の川には、はくちょう座の1等星デネブがあります。この3つの星を結びと三角形ができます。これを【夏の大三角】と呼んでいます。

また、南の空を見てみると、さそり座の心臓の部分にあたる1等星アンタレスが赤く輝いています。このほか、天の川をめくりながら夏を代表する星と星座を説明します。七夕伝説のお話もあります。

★ 利 用 案 内 ★

投影日時

- 土曜投影 11時00分～11時30分 ○ 日曜投影 14時～14時30分
- プラネタリウムの投影スケジュールにつきましては、児童センターまでお問い合わせいただくか、児童センターだよりまたは、ホームページでご確認ください。
- 入場は投影開始15分前からです。
- 定員 100名
- 投影は、幼児も観覧できますが保護者の同伴が必要です。

休館日

- 毎週火曜日、祝日(5月5日を除く)
- 年末・年始(12月29日～1月3日)

観覧料

- 無料です。



新型コロナウイルス感染の5類感染症移行後も、基本的な感染症対策(手洗い手指消毒、換気等)の啓発を継続します。ご理解ご協力のほどお願いいたします。

入館の際は「児童センター利用簿」の記入をお願いしております。

また、投影は予告なく変更または中止になる場合があります

のでご了承下さい。



伊勢崎市児童センター

〒372-0023 伊勢崎市粕川町1609
TEL. 0270-23-6463 FAX. 0270-23-6477
<http://www.ise-shakyo.or.jp/>

伊勢崎市児童センター

検索

伊勢崎市児童センター

プラネタリウム 夏

2023 No.158

表紙 「はくちょう座」

「はくちょう座」は、夏から秋にかけて天頂辺りに見ることができる大きな十字に並んだ美しい星座です。この美しい十字型は「北十字」という名前でも呼ばれています。

「はくちょう座」の目印は1等星のデネブで、はくちょうが天の川の中をとんでいるように見えます。

「こと座」のベガと「わし座」のアルタイル、そして「はくちょう座」のデネブを結んでできる三角形を「夏の大三角」と呼び、夏の星座や星を見つける目印になっています。

ギリシャ神話では、はくちょう座は大神ゼウスが変身した姿だとされています。ある日、美しさには並ぶものがないといわれているほど大変美しい、スパルタの王・テュンダレオスの妃・レダが侍女たちと一緒に宮殿近くの泉に出掛けて水浴びをしていたところ、天上から見ていたゼウスが見つけた美しいはくちょうに姿を変えて、レダのいる泉に舞い降りてきました。舞い降りてきたはくちょうを見つけたレダは、それがゼウスの化身とも知らず、美しいはくちょうを、やさしく抱き寄せてしまいました。その後、レダは大きな卵をふたつ産みました。そして、ひとつの卵からは双子の兄弟、カストルとポルックスが生まれます。このふたりがふたご座になっています。もうひとつの卵からは双子の姉妹が生まれました。

Deneb

デネブ

アルビレオ

はくちょう座

夏の星座の探し方

夏の夜空には明るい星がたくさんかがやいています。夏休みなどに、旅先で夜空を観察するのも楽しいよ。そのときは、必ず大人の人といっしょに見てくださいね。

★こと座・おりひめ星

天の川の西側に、ひときわ明るくかがやく星が一等星のベガです。ベガとそのすぐ西に4つの星がつぶれた四角の形に並んでいるのがこと座です。

七夕物語に出てくるおりひめ星は、このこと座のベガに当たります。

★わし座・ひこ星

ベガの少し南東にある一等星、アルタイルがわしのどう体にあたります。

七夕物語に出てくるひこ星は、このわし座のアルタイルにあたります。

★はくちょう座・夏の三大角

ベガやアルタイルよりもう少し北にかがやく明るい一等星が、デネブです。デネブをしゃぼにして、漢数字の十の形に星が並んでいるのがはくちょう座です。白鳥の顔にあるアルビレオは望遠鏡で見ると、オレンジ色と青色にかがやく二つの星からできているのが分かります。

三つの一等星、こと座のベガとわし座のアルタイル、はくちょう座のデネブをむすぶと夏の三大角とよばれる、きれいな三角形ができます。

★さそり座

南の空に、真っ赤にかがやく一等星がアンタレスです。アンタレスをサソリの心臓にして、西に向かってTの形に星が並んでいる部分が、さそりのどう体とはさみの部分です。アンタレスから東に向かってつり針のような形に星が並んでいる部分が、さそりのしゃぼにあたります。

★てんびん座

さそり座の西に、星が「く」の字をひっくり返した形に並んでいるあたりが、てんびん座にあたります。明るい星が少なく、探づらい星座です。

★いて座

さそり座の東に、南斗六星と呼ばれる6つの星がひしゃくの形に並んでいるのがわかるでしょうか。これがいて座のどう体から弓矢の部分にあたります。

★へびつかい座・へび座

さそり座の真っ赤な星、アンタレスの上のほうに、星が得棋のこまのような五角形に並んでいるのが、へびつかい座にあたります。

へびつかい座の五角形の底辺を通るように、ちょっとUの字の形に曲がりながら星がつながっているのがへび座になります。

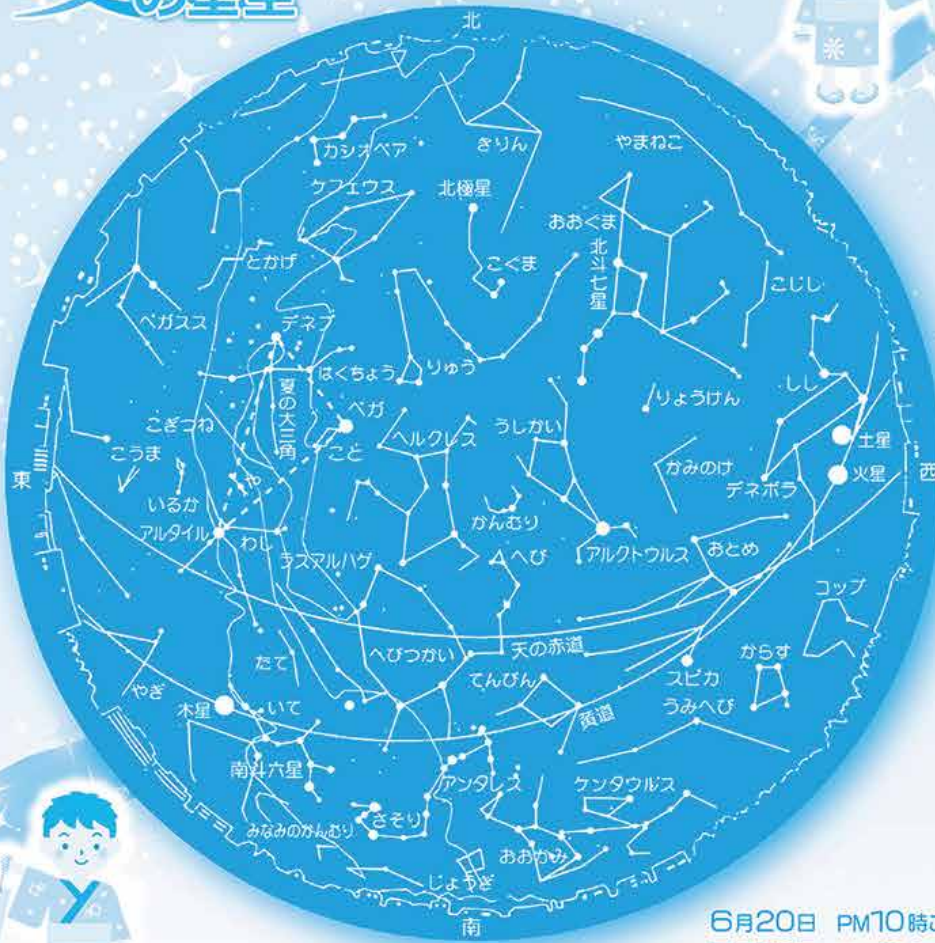
★ヘルクス座

こと座のベガとうしかい座のアルクトゥールスの間に、真ん中がつぶれたHの形に星が並んでいるあたりが、ヘルクスのどう体になります。

★いるか座

わし座のアルタイルの北西にある、小さなひし形の並びがあるかのどう体にあたります。そのすぐそばにいるかの尾ひれに当たるもう一つの星が見つかるはずですよ。

夏の星空



6月20日 PM10時ごろ
7月20日 PM 8時ごろ
8月20日 PM 6時ごろ

月のこよみ

6月

4日 ○満月(ストロベリームーン)
11日 ●下弦
18日 ●新月
26日 ●上弦

7月

3日 ○満月(バックムーン)
10日 ●下弦
18日 ●新月
26日 ●上弦

8月

2日 ○満月(スタージョンムーン)
8日 ●下弦
16日 ●新月
24日 ●上弦
31日 ○満月(ブルームーン・スーパームーン)

【本年最大の満月】

天体ニュース

★★★低空に輝く宵の明星

宵の明星として目を引いてきた金星ですが、7月に入って高度を下げて西の空で月と接近して見えます。夕焼けに染まる空で、輝く金星と細い三日月が並ぶ様子は見栄えのすることでしょう。近くには、水星と火星もありますが、肉眼で見つけるのは簡単ではなさそうです。

★★★ペルセウス座流星群

三大流星群のひとつであるペルセウス座流星群は、8月11日の夜から14日の夜が見ごろとなるでしょう。流星は放射点を中心に1時間あたり30~40個ほど見られると予想されていて、流星痕が残る流星も多く、火球が見られるかもしれません。今年は月明かりの影響を心配せずに観察できるでしょう。

★★★2023年地球から最も近い満月

2月6日の満月は2023年で地球から最も近い満月でしたが、8月31日の満月は、2023年中で地球から最も近い位置で満月になります。最近では、地球に近い満月に対して「スーパームーン」という名称がよく使われています。